

# 北海道の魅力を I R 施設で効果的に P R

シンガポール事務所

11 月下旬、シンガポールの統合型リゾート（I R）施設「リゾート・ワールド・セントーサ」で、食や観光を中心とした北海道フェアが開催されました。北海道産食材を使ったレストランフェア、観光プロモーション、ステージパフォーマンスを実施するとともに、乳製品などの食品や酒類、工芸品、インテリアなどの物販を行い、幅広い北海道の魅力を発信しました。



フェアの一環として商談会も開催されましたので、以下に紹介します。

## 1 商談会 in セントーサ

11 月 24 日（木）、25（金）の2日間に渡って開催されたセントーサでの商談会では、従来の外食産業に加え、化粧品などコスメティック商品販売業者が出展したことが新たな試みとなりました。通常の商談会は自由入場・自由商談が多いのですが、商談会出展者及び招聘バイヤーに対して時間割を作成してきめ細かいマッチング対応を行ったことで、ロスがなく効果的な商談が行われました。商談はお見合いに例えられますが、「まずは商談の場に着席してもらうこと」が重要であることを再認識させられました。



## 2 統合型リゾートとの連携

シンガポールにおける統合型リゾートとの連携の効果を考察してみたいと思います。

日本の自治体側のメリットとしては、シンガポールのみならず近隣 A S E A N 諸国は勿論、中国本土などから来る海外観光客に対してワンストップで効果的なプロモーションが行えることが挙げられ、統合型リゾート側のメリットとしては 11 月下旬からのシンガポールにおけるスクールホリデー期間において、一般的に海外旅行に出掛けてしまうシンガポールの家族連れを惹き付ける目玉イベントとしての集客効果が挙げられるでしょう。

自治体プロモーションは通常ショッピングモールなどで開催されますが、敢えてシンガポール側から見たインバウンド施設で開催することの意味は、インバウンド先進国であるシンガポールの強みを活用し、近隣諸国からの来星観光客をもターゲットとなし得ることが大き

いのではないのでしょうか。

### 3 北海道と札幌市の連携

北海道と札幌市は、ASEAN諸国への道内企業の販路拡大、道産品の輸出拡大に向けて、連携してより効果的に支援を行うため、北海道・札幌市海外拠点連携協議会を設置し、「ASEANマーケット開拓プロジェクト」の一環として、今回の事業を実施しました。

自治体間連携により商談アイテムの増加、情報資源の共有、経費節減の効果など多くのメリットが期待されます。シンガポールは都市国家であり自治体の概念がありませんので、効果的なプロモーションに自治体の垣根を超えた連携は欠かせないものとなるでしょう。

#### 【北海道どさんこプラザシンガポール開店1周年記念事業：北海道プレミアム食材商談会】

11月21日(月)、上記フェアと連動し、北海道のアンテナショップである「北海道どさんこプラザシンガポール」の開店1周年を記念して、ION オーチャードのSalt Grill & Sky Barにおいて、「北海道プレミアム食材商談会」が開催されました。

商談会には北海道の生産者が参加し、付加価値の高い食材を提案するとともに、北海道内の一流料理人が旬の食材を活用した料理を提供することにより、道産品の幅広い活用方法を提案し、道産食材の魅力をPRする場となりました。



CLAIR

(佐々木所長補佐 札幌市派遣)